

# 産業情報いわて

VOL. 132

月刊 2013年7月号



【支援企業紹介】

株式会社

# プランタンいずみ

## 「技術」と「気づく力」こそ 日本のものづくり P2



第17回いわて希望ファンド P4

第14回いわて農商工連携ファンド  
公募案内

つなげよう復興 つづけよう応援 P6

第6回いわて特産品フェア開催

チャレンジ・ショップ出展者募集 P7

毎月勤労統計調査特別調査について P7

いわて特産品コンクール P8  
出品者募集中



- ① ダウンジャケット以外なら何でも縫製可能。女性従業員の熟練の技を支える。
- ② 子供服はシーズンの約4ヶ月前にメーカーから発注が入ることが多い。現在は2013年秋冬物衣料製造の真っ最中だ。
- ③ 結婚や出産を経て女性が働ける職場づくりが同社のポリシー。内職スタッフも含め同社に関わる女性は非常に多い。
- ④ 検針は売場に出る前の最終工程。専用機を導入して1点1点厳しくチェック。
- ⑤ 一度に9色の刺繍が可能で刺繍機。
- ⑥ デザイナーからメールで届いたパターンをチェックし、サンプル製作に取りかかる。CAD/CAM導入で品質は向上した。
- ⑦ 裁断機でパーツにカットしていく。
- ⑧ レースにリボンを縫いつける。美しいギャザーの寄せ方や、異素材同士の縫製はもっとも技術を要する部分でもある。
- ⑨ 工場の全景

発信!!  
いわての  
力こぶ

# 「技術」と「気づく力」こそ日本のものづくり

我が社の  
力こぶ  
はコレ!

女性の根気と手先の  
器用さがものづくりの鍵

縫製業は人の手がかかる仕事。作業を続ける根気や手先の器用さはやはり女性が優れています。テーマは彼女たちが働きやすい環境を作りつつ、小ロット多品種というニーズの中でいかに高い技術を継承していくか。チャレンジは続きます。

代表取締役  
寿松木 亨



日本国内で流通する衣料品は、今や95パーセント以上が海外生産品。生産力はもちろん技術力でも攻勢をかけてくる各国に対し、生き残りをかけてものづくりに取り組んでいるのが、久慈市の縫製会社プランタンいずみである。中国で技術指導にも携わった寿松木社長は、日本人の持つ「気づく力」こそが厳しい生産競争に打ち勝つ鍵と説く。

## 婦人服販売から子供服製造へ。久慈市の地場産業を支える

高度成長期、工業生産量の飛躍的増加などを受けて各地で加速した産業集積。特定地域内に企業が立地し「○○の町」と呼ばれるような産業構造を形成する状態で、長野県坂城町や新潟県燕市などが知られている。最も近年は生産拠点の海外移転により急速に姿を消しつつあるのだが、その中で久慈市は誘致企業15社16工場のうち半数の7社8工場が繊維製品製造業という、非常に特徴的な産業構造を有している。

「縫製業といっても生産品目が違い、有する技術も違う。すごく勉強になります」。

父である先代社長から事業を引き継いで5年、株式会社プランタンいずみの代表取締役、寿松木亨さんはそう語る。同社はベビー服と子供服の縫製を専門とするが、新生児のおくるみから中学生程度までとサイズ展開は広く、ジャケットやパンツなどのフォーマルからTシャツやバッグ等の小物までと、アイテムもオールラウンド。「取引先からの要望でパターンをひとつ、またひとつと増やしていった」と寿松木社長はいい、社会や顧客ニーズに合わせて同社が柔軟に事業を展開してきたことがうかがえる。実際、同社は創業時は高級婦人服店であったが多角化を図って縫製業に進出、昭和48年に子供服縫製へと業態転換した。現在は裁断から納品までの一貫生産体制を

整え、顧客には有名アパレルメーカーが名を連ねる。

## メイド・イン・ジャパンとは日本人が持つ「気づく力」である

メーカーが信頼を寄せる理由のひとつは、もちろん高い縫製技術だ。着やすさを求める子供服では、たとえば綿とジャージ素材のように伸縮度の違う生地を組み合わせることも多いが、布や糸の調子などを微調整しつつ縫わなくてはならない。寿松木社長いわく、この「手加減」が出来るかどうかで仕上がりは大きく変わる。「デザイナーのイメージは送られてくるパターン(図面)だけではわからない。より正確にイメージを実現するには、縫製者自身も考えないと」と、寿松木社長は続ける。持論は、約4年間の中国滞在で得たものだ。

平成16年に提携先の上海工場の品質管理のため、寿松木社長は中国へ渡っ

た。そこで桁違いの生産力を目の当たりにし、日本の縫製会社が生き残っていくため何が必要かに思い至る。技術力や流通メリットもあるが、一番は「気づく力」だという。「中国人は、指示されたことは一生懸命やり遂げる。でも日本人はデザイナーの好みを熟知し、縫い方ひとつでシルエットが変わることやコストを下げる方法など工夫できる。久慈にこれほど縫製会社が残っているのも、『気づく力』があるからでしょう」。

当センターが毎年開催しているアパレルマッチングフォーラムも「メイド・イン・ジャパンに関心のある企業を集めてもらえる大事なチャンスだから」と寿松木社長は積極的に利用。着実に、久慈市が誇るメイド・イン・ジャパンの周知に努めている。

「あのイタリアみたいに、久慈が縫製のブランド産地になっていけばいい」。寿松木社長が描くのは、地場企業と地域がともに発展していく将来だ。その実現は、それほど遠い未来のことではないだろう。

株式会社プランタンいずみ  
支援企業紹介 久慈市



会社名 株式会社プランタンいずみ  
本社 岩手県久慈市寺里29-33-1  
本電話 0194-53-2281  
代表者 寿松木 亨  
創業 1982年  
従業員 65名  
従業員種 縫製業、海外生産の品質管理、納期管理  
U R L http://prantan-izumi.net/

# 第17回 いわて希望ファンド

# 第14回 いわて農商工連携ファンド

## 公募中です 7/29(月)まで

希望ファンド  
小規模事業者枠は  
7/22(月)まで

### いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取り組みなどについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

●市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

| 対象者   | ●創業する者<br>●中小企業者         | ●特定非営利活動法人(NPO法人)<br>●農事組合法人等 |                             |  |
|-------|--------------------------|-------------------------------|-----------------------------|--|
|       | ①一般枠<br>起業または新事業に取り組む事業者 | ②地域資源活用枠<br>(地域資源を活用する事業)     | ③経営革新枠<br>(経営革新計画の承認を受けた事業) | ④小規模事業者枠<br>(従業員5名以下の事業所で起業または新事業に取り組む事業者) ※新設 |
| 助成限度額 | 300万円                    | 300万円                         | 500万円                       | 150万円  |
| 助成率   | 1/2                      | 2/3                           | 3/4                         | 3/4(ヒアリング調書を基にした書類審査、プレゼンなし)                   |
| 助成期間  | 1年間(※継続3年以内(毎年審査))       |                               |                             |  |

### 中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

| 対象者   | ●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者<br>●小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者等<br>●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合<br>●知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人) |
|-------|---|
| 助成率   | 9/10 (店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)」の算式によって算出された額の9/10)  |
| 助成限度額 | 250万円   |
| 助成期間  | 1年間(※継続3年以内(毎年審査))  |

### 支援機関による 支援事業

中小企業者が実施する  
創業・経営革新等を支援する  
事業を行う支援機関の  
取り組み支援

## 第16回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第16回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、平成25年5月22・23日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

| 区分    | 企業・組合名               | 所在地  | 事業内容  |
|-------|----------------------|------|---|
| 地域資源  | 工房 夢 蘭・花             | 盛岡市  | 蘭と漆で作る「岩手の「ご当地キャラクター」」の商品開発並びに販路の開拓   |
|       | (株)山の屋               | 盛岡市  | いわての地鶏 南部かしわの生産から加工・販売まで、6次産業への新たな挑戦。独自の商品開発により新しい地鶏の提供方法・販売手段を確立させ全国への販路拡大           |
|       | 岩手県産(株)              | 矢巾町  | 岩手PB商品の開発による岩手ブランド強化と売上拡大   |
|       | (有)アリアン商事            | 紫波町  | 埋もれた食用資源(ツルニンジン)を活かした新商品開発と販路拡大   |
|       | 合同会社リグループ            | 八幡平市 | 馬産地・岩手＝馬ふん堆肥なら岩手県!!を指して、地元・八幡平市産の牧草や岩手の大自然を主食とした馬たちから排出される馬糞を活用した「馬ふん堆肥」の開発と製造、販路拡大   |
|       | (株)亀屋                | 花巻市  | 地場産大豆を活用した豆菓子のサプライチェーンの構築   |
|       | (有)田屋商事              | 岩泉町  | 自社生産の淡水魚の焼売(直接販売)と加工品開発・販売の強化による業態転換  |
|       | 漆掻き いがり              | 二戸市  | 漆掻きとそれにより採取された漆の活用を通して成り立つ事業の確立(3年目)  |
|       | (株)鈴清食品              | 一関市  | 新商品「雑穀納豆」の企画開発と市場創出による活路開拓  |
|       | 及川冷蔵(株)              | 大船渡市 | 復興記念!三陸のおせち開発及び新しい海鮮みやげ開発事業   |
| 経営革新  | 合同会社しづか亭             | 平泉町  | パトナタッチ式農業体験及び加工体験サービスの提供による固定客の確保   |
|       | 花巻商工会議所              | 花巻市  | 観光客をターゲットとした「ひえカレー」の提供によるまちの活性化事業   |
| 中心市街地 | 台温泉湯の里振興協同組合         | 花巻市  | 花巻温泉郷・台温泉の地域ブランド向上による温泉街活性化～来街客に「癒し」を与える複合的な企画実施で交流人口の増加を目指す                          |
|       | (株)土澤まちづくり会社         | 花巻市  | 20年後の地域存続を見据えた 土沢商店街と周辺農村部結ぶ地域ブランドの立ち上げ   |
|       | 新生やまだ商店街協同組合         | 山田町  | ～震災前よりも魅力的な山田町～   |
|       | おおふなと夢商店街協同組合        | 大船渡市 | おおふなと夢商店街交流広場開設事業   |
| 支援機関  | 岩手県商工会連合会<br>盛岡商工会議所 | 盛岡市  | 創業を促進するための「創業塾」と新事業展開や事業の見直しを通じて企業の経営力向上を図ることを目的とした「経営革新塾」をそれぞれ開催し、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。 |
|       | 公益財団法人岩手県観光協会        | 盛岡市  | 地域におけるおもてなしの向上等受け入れ体制整備のリーダーとなる人材を養成と、観光関連産業の経営革新やサービス生産性の向上を図る。                      |
|       | 公益財団法人いわて産業振興センター    | 盛岡市  | 販路拡大の一助として、スーパーマーケットトレードショー2014への県統一出展の継続と、効率的、効果的出展のために、セミナー事業及び試験販売支援事業をあわせて行う。     |

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

中小企業者と農林漁業者が連携をして行う下記の事業を支援

- ①新商品等開発支援事業(新商品・新技術・新役務の開発事業)
- ②販路開拓等支援事業(販路開拓事業)
- ～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等～

| 対象者   | ●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体<br>⇒農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁協、連合会も可)<br>●中小企業者以外で、県内のNPO等と農林漁業者の連携体 |
|-------|--|
| 助成率   | 4/5以内  |
| 助成限度額 | 600万円<br>(農商工等連携事業計画の認定を受けている場合は助成限度額1,000万円)  |
| 助成期間  | 1年間(※継続3年以内(毎年審査))   |

### 支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

#### ●農商工連携の基本的要件

##### 1 有機的連携

中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること  
◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。  
◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。

##### 2 新商品の開発等

事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること  
◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。

#### ●農商工連携の事例～お菓子の開発～

**中小企業者(菓子メーカー)**  
もち米である古代米、低アミロース米の米粉を使用し試作品の製造、サイズ・パッケージ共に平泉に結びつけるデザイン製作。展示会における市場調査、販路拡大活動を行う

**農林漁業者(農業者)**  
古代米を米粉に加工(品種の選定と製粉条件)、低アミロース米、うるち米といった食感の異なる原材料も検討。事業化された事により古代米に新たな活用・販路が生まれた

**連携**  
それぞれが  
工夫を凝らした  
取り組み!

**新商品開発!**  
平泉の「世界文化遺産」登録を目前に商品開発を構想。「平泉」と「古代米」という共通した歴史イメージをもつ素材を組み合わせて考案された事業化に至った。商品名・パッケージデザイン等も同様のイメージから発案された。

## 第13回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第13回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、平成25年5月23日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

| 区分     | 企業・組合名                       | 所在地        | 事業内容                                       |
|--------|------------------------------|------------|--|
| 起業・新事業 | 久慈琥珀(株)<br>(連携者:岩手県浄法寺漆産産組合) | 久慈市(二戸市)   | 国内最大産地 琥珀と漆の融合(継続3年目)                      |
|        | (株)浦嶋商店<br>(連携者:浦嶋繁寿)        | 大船渡市(大船渡市) | いわての三陸産「ウィルスフリー牡蠣」のブランド創造プロジェクト            |
|        | (株)門崎<br>(連携者:農業組合法人門崎ファーム)  | 一関市(一関市)   | 門崎メダカ米の商品開発と販売戦略                           |
|        | (株)五篤丸水産<br>(連携者:白野正・佐藤充)    | 山田町(山田町)   | 「下閉伊の山海の恵み」を活かす加工品シリーズの開発・商品化              |
|        | 合同会社33<br>(連携者:石黒農場)         | 盛岡市(花巻市)   | 「食肉のスペシャリスト」による「肉を使いきる」商品開発および発信           |
| 支援機関   | 公益財団法人<br>いわて産業振興センター        | 盛岡市        | いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業の活性化のための課題解決支援・販路開拓支援 |

### ●手続きの流れ



お問い合わせ  
お申し込みは **産業支援グループ**

(いわて希望ファンド担当/福島 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤利光)  
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール joh@joho-iwate.or.jp

# 第6回 いわて特産品フェア開催



5月24日(金)～5月29日(水)の6日間、盛岡市菜園・パークアベニュー・カワトク7階催事場及びダイヤモンドホール、1階店頭・エレベーターホール・店内案内所前特設会場において、「つなげよう復興 つづけよう応援 第6回いわて特産品フェア」を開催しました。上野副知事、鈴木実行委員会会長、(株)川徳門口取締役パーク店店長によるテープカットの後、オープニングプレゼントの「海女の塩どら」が来場者に手渡され、賑やかにスタートしました。

例年、いわて特産品フェアは、岩手県の特産品を県民に周知し、販路拡大を図ることを目的として開催しております。第6回目の今年は、4月から連続テレビ小説「あまちゃん」が放送されていることに合わせ「あまちゃんパネル展」や「まめぶ汁」のお振る舞い等、ロケ地である久慈地域の特産品と観光を中心に、岩手全体の特産品をPRし、復興パネル展示で岩手の復興もPRしました。

出店事業者は、食品61社、工芸品19社、合計80社が参加し、売上も18,850千円(速報値)と、盛況のうちに終了することができました。



テープカットのようす



まめぶ汁お振る舞い



海鮮せんべい汁お振る舞い



あまちゃんパネル展



貴社の新商品を盛岡地区で試験販売し、手応えを確かめてみませんか？

## チャレンジ・ショップ 出展者募集のお知らせ

【主催】(公財)いわて産業振興センター

期間 平成25年6月～平成26年2月末

場所 イオンモール盛岡南「いわて活菜横丁・結いの市」内  
チャレンジ・スペース

事業対象者 ● 中小企業支援法第2条に規定する中小企業者  
● 岩手県内において創業しようとする個人及びグループ  
● 農林水産物及びその加工品の生産者等  
● その他、いわて産業振興センターが適当と認める者

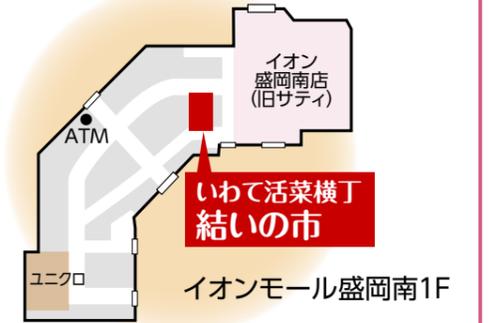
使用可能面積および1事業者あたりの出店限度日数

● 5m×3.2m、最長7日間(間が空いても可)までで調整します。

● 詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.joho-iwate.or.jp/challengeshop/>

消費者ニーズや商品評価の把握にご活用ください！



お問い合わせ ● 空き日程の確認、申込：(一社)遠野ふるさと公社(チャレンジ・スペース管理者) ☎019-631-3137  
● 制度についての確認：(公財)いわて産業振興センター産業支援グループ ☎019-631-3823

## 毎月勤労統計調査特別調査についてのお願い

厚生労働省では、本年7月31日現在で、常用労働者を1人から4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、1～4人の常用労働者を雇用する小規模事業所における賃金、労働時間及び雇用の実態について全国及び都道府県別に明らかにすることを目的に実施しており、結果は小規模事業所の実態を示す資料として最低賃金の改定審議等に使用されています。

調査対象となる事業所には、8月から9月にかけて統計調査員が訪問し、調査票の内容をお聞きして調査票を作成いたします。

調査票に書かれた事柄は、「統計法」により、厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることは禁じられています。

ご多忙のことは存じますが、調査の重要性をご理解いただきまして、ご回答いただきますようお願いいたします。

### 毎月勤労統計調査 特別調査とは？

常用労働者5人以上の事業所を対象に毎月行っている毎月勤労統計調査(給与や労働時間、雇用の変動を毎月明らかにする調査)を補うために常用労働者1～4人の事業所を対象に年1回行う調査です。

対象の範囲は、農業、林業、漁業、家事サービス業、外国公務及び一般公務を除く事業所です。

調査の結果は、小規模事業所の実態を示すものとして最低賃金の決定に係る審議会資料に使用される等、行政施策の企画・立案に役立てられています。

なお、この調査は国の重要な統計を作成するための調査として、統計法に基づく「基幹統計調査」とされています。



毎月勤労統計調査特別調査  
イメージキャラクター「とくちゃん」

厚生労働省

# いわて特産品 コンクール

出品者募集中

申込締切

8/23(金)

販路開拓に意欲的に取組む県内事業者による新商品等の開発を促進するとともに、  
これら商品等の普及を図ることを目的に食品並びに工芸品・生活用品のコンクールを開催します



平成24年度  
岩手県知事賞 食品部門  
のだ塩さばめしの素  
(株)長根商店

「なりわい」の再生、  
復興加速年！  
つなげよう復興！



平成24年度  
岩手県知事賞 工芸・生活用品部門  
藍染めパーティション  
(有)染屋たきうら



入賞者  
特典

## 新聞媒体による 受賞PR広告

出品者  
特典

## PRパンフレット作成・配布

岩手県アンテナショップ(東京銀座・大阪・福岡)、  
物産展、商談会など

### ●開催日時等

| コンクール部門名称  | 審査会日時         | 表彰式日時       |
|------------|---------------|-------------|
| 食品部門       | 9月25日(水) 9:20 | 9月26日(木) 午後 |
| 工芸品・生活用品部門 | 9月26日(木) 9:20 |             |

### ●申込み方法

参加申込書に記入のうえ、FAX又は郵送願います。  
参加申込書は(公財)いわて産業振興センターホームページから  
ダウンロードできます。

[http://www.joho-iwate.or.jp/fund/tokusanhin\\_d.pdf](http://www.joho-iwate.or.jp/fund/tokusanhin_d.pdf)

主催/いわての物産展等実行委員会(公益財団法人いわて産業振興センター)・岩手県  
後援/岩手県市長会

申込み先

いわての物産展等実行委員会(公益財団法人いわて産業振興センター)  
〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830